**静脈性血管瘤アンケート**

**症例経験施設名**：

**記載者施設名**：

**記載者名**：

**記載者連絡先電子メールアドレス**：

**記載者連絡先電話番号**：

**施設の形態**

□病院　□診療所　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**診療科**

□血管外科　□心臓血管外科　□一般外科　□形成外科　□内科

□その他（　　　　　　　　　　　　）

**平成19年1月から平成28年12月までの10年間**において受診診療した静脈性血管瘤症例

総数　( 　　例　　　肢)

詳細が分かる症例についてわかる範囲で、以下の症例カードをコピーして1例ずつご記入願います。また発症年、部位、深部静脈血栓症・肺塞栓症の有無についてはおおよそでも結構です。

**No. (症例通し番号)**

**患者イニシャルあるいは識別番号：**　　　　　**年齢：**　　　歳

**性別：**男・女　　　**発症年：**平成　　　　年　（詳細不明の際はおおよそでも結構です）

**診断の契機**

□肺塞栓症精査　□深部静脈血栓症精査　□他の疾患検査中の偶発所見　□表在性血栓性静脈炎　□美容上の問題　□その他 ( )

**診断方法（実施したもの全て）**

□超音波duplex　□単純CT　□造影CT　□MRI　□静脈造影　□理学所見のみ

□その他 ( )

**静脈性血管瘤の部位（複数選択可、複数の時は①、②、、、と書いてください）**

□外頚静脈（左・右）　□内頚静脈（左・右）

□上肢表在静脈（手・前腕・上腕：静脈名称　　　　　　　　　　　　　　）（左・右）

□上肢深部静脈（手・前腕・上腕：静脈名称　　　　　　　　　　　　　　）（左・右）

□上大静脈　□下大静脈　□門脈　□腎静脈（左・右）

□総腸骨静脈（左・右）　□外腸骨静脈（左・右）　□内腸骨静脈（左・右）

□総大腿静脈（左・右）　□浅大腿静脈（左・右）　□大腿深静脈（左・右）

□膝窩静脈（左・右）

□下腿深部静脈（静脈名称：　　　　　　　　　）（左・右）

□下肢表在静脈（大腿・下腿・足部：静脈名称：　　　　　　　　　）（左・右）

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（左・右）

**瘤の形状**　　□嚢状瘤　□紡錘状瘤

**瘤径** mm（縦） ×　mm（横）×　　mm（長さ）

（複数発症の場合はそれぞれ記載をお願いします。）

② 　 mm ×　mm×　　mm、③ 　mm ×　mm×　　mm

**症状**　□症候性　□無症候性

**表在性血栓性静脈炎の合併**□あり　□なし

**深部静脈血栓症の合併**□あり　□なし

深部静脈血栓症発症部位　　　　　　　　　　静脈

深部静脈血栓症の症状　　　□あり　□なし

**肺塞栓症の合併**□あり　□なし

肺塞栓症の程度　　□Non-massive　□Sub-massive　□Massive　□Collapse

肺塞栓の症状　　　□無症候　□呼吸困難　□ショック　□死亡

**その他追加記載事項**

**No. (症例通し番号)**

**治療（複数選択可）**

□経過観察のみ　□圧迫療法　□薬物治療　□手術治療

**抗凝固療法**

ヘパリン・ワーファリン・抗Xa阻害薬・その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

抗凝固療法継続期間（　　　　　　　　　　）

**手術術式**

□瘤切除＋静脈形成術　□瘤切除・自家静脈パッチ閉鎖術　□瘤切除・自家静脈グラフト間置術　□瘤縫縮術（切除を伴わない場合）　□瘤切除のみ　□静脈結紮術

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

**その他追加記載事項**

**手術合併症（複数選択可）**

□なし

□出血・血腫　□深部静脈血栓症・閉塞　□感染症　□肺塞栓症

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**その他追加記載事項**

**No. (症例通し番号)**

**＜遠隔期予後＞**

**フォローアップ期間**（　　　　　）日・ヶ月・年

□生存

□死亡　死因：静脈血栓塞栓症・その他（　　　　　　　　　　　　　）

**形態**　□静脈性血管瘤不変　□静脈性血管瘤拡大　　　　 　**瘤径** mm ×　mm×　　mm

フォローアップ期間（　　　　　）日・ヶ月・年

特に瘤径経過が経時的にわかる場合はご記載ください

フォローアップ期間（　　　　　）日・ヶ月・年　　**瘤径** mm ×　mm×　　mm

フォローアップ期間（　　　　　）日・ヶ月・年　　**瘤径** mm ×　mm×　　mm

フォローアップ期間（　　　　　）日・ヶ月・年　　**瘤径** mm ×　mm×　　mm

**悪化・再発部位**　□同所性　□異所性（部位：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**再発症状**　□あり　□なし

**表在性血栓性静脈炎の合併**　□あり　□なし

**深部静脈血栓症の合併**　　□あり　□なし

深部静脈血栓症発症部位　　　　　　　　　静脈

深部静脈血栓症の症状　　□あり　□なし

**肺塞栓症の合併**　　□あり　□なし

肺塞栓症の程度　　□Non-massive　□Sub-massive　□Massive □Collapse

肺塞栓の症状　　　□無症候　□呼吸困難　□ショック　□死亡

**その他追加記載事項**

**No. (症例通し番号)**

**＜遠隔期再発時の治療＞**

□経過観察のみ　□圧迫療法　□薬物治療　□手術治療

**抗凝固療法**

ヘパリン・ワーファリン・抗Xa阻害薬・その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

抗凝固療法継続期間（　　　　　　　　　　）

**手術術式**

□瘤切除＋静脈形成術　□瘤切除・自家静脈パッチ閉鎖術　□瘤切除・自家静脈グラフト間置術

□瘤縫縮術（切除を伴わない場合）　□瘤切除のみ　□静脈結紮術

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

**手術合併症（複数選択可）**

□なし

□出血・血腫　□深部静脈血栓症・閉塞　□感染症　□肺塞栓症

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**その他追加記載事項**